てつ。(學名) Plagiogyria Matsumureana Mak.』ト鑑定シテアルガ是レモ大ナル誤リデアル先ヅ第一ニ其圖ノ羊歯ガ小型デアルノデ直グニ其レガ今日吾人ノ云フ所ノやまそてつデナイコトガ判カルノミナラズやまそてつノ根莖ハ此圖ノ樣ニ横走スルモノデナイカラ此レガ其レデナイコトハ直チニ首肯セラルヽ

又其次第四ニ『つる 貫衆(くわんじゅう)江戸』トシテ圖シテアルモノハ今日吾人ノ稱スルつるでんだ。即チ Polystichum craspedosorum DIELS. デアル然ルニ同ジ卷末ノ「名疏」ニハ之ヲ『一名をりづるしだ。名鑑一名いかりしだ。草木名寄一名つるしだ。一名つるきじのを。以上二名草木性譜(學名) Polystichum lepidocaulon (HK.) J. SM.』ト記シテアルガ是レモ亦非常ナル鑑定違ヒデアル今此圖譜ノ圖デ一見スレバ其レガ直チニをりづるしだデナイコトガ分ル、タヾ其葉末カラ苗ガ出テ居ルヲ見乃チ速了シテ之ヲをりづるしだトシタトスレバ其レハ隨分疎漏ナ見立ダト謂ハネバナラヌをりづるしだハモット大形ノ羊歯デ其羽片モ先キガ尖ッテ居ル又其羽片裏面ノ嚢堆モ此圖ノ樣ニ一列ニナッタ大形ノモノデハナイ又葉柄ノ鱗片モ此圖ノ樣ニ尖リ出テハ居ナイ又葉縁ニ圖ノ樣ナ毛ハナイ其レ故此圖ニ對シテ今少シク精密ニ考ヘタナラバ此レガつるでんだデナケレバナラヌコトガ容易ニ看取セラルヽノデアル

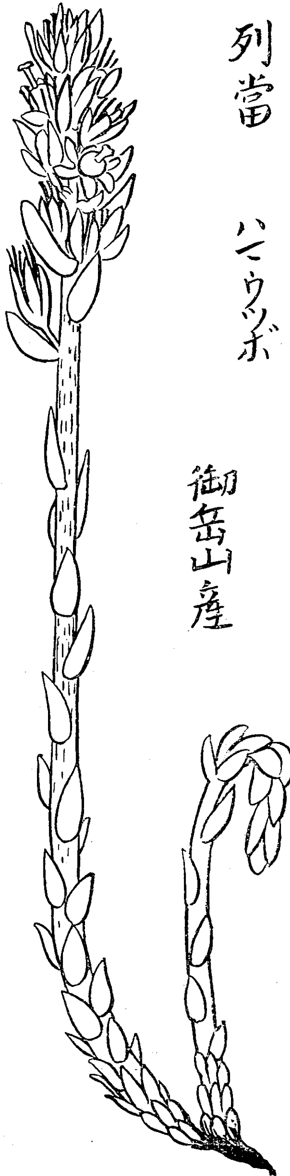
○本草圖譜ニ「列當一種」ト記セル淡黄花ノ植物ハ何乎

牧野富太郎

前記岩崎灌園ノ『本草圖譜』卷之一山草部ニ「列當一種」トシテ掲ゲテアル一種ノ植物ガアル列當即チはまうつぼノ次ニ其圖ガアッテ圖傍ニ「一種　武州御嶽山中に生ずるもの花淡黄色なり」ト記シテアルガ抑モ此レハ如何ナル植物デアラウ乎

著者岩崎灌園ハ此植物ヲ列當(はまうつぼ)ノ一種ト記セドモ是レハ決シテ列當科ノ者デナク正シクいちやくさう科ノしやくぢやうさう即チ Monotropa Hypopithys L. var. japonica FRANCH. ET SAV. デアル今岩崎灌園ガ自

ラ寫生シタ最初ノ原圖カラ私ガ模寫シタ圖ヲ次ニ掲テ見ヨウ此原圖ニハ彩色ガ施シテアルガ此ニハ之ヲ墨繪トシタ、其原圖ノ傍ニ書テアル「列當　ハマウツボ　御岳山產」ノ文字ハ灌園ノ自筆其マヽノ字體デアル今熟ラ此圖ヲ諦視スレバ其植物ガ決シテはまうつぼ類ノ者デハナク當ニしやくぢやうさうデアラネバナラヌコトガ直ニ看取セラルヽ、其圓キ子房ノ上ニ短大ナル一花柱ノ突キ立ツテ居ルコトヽ、其子房ノ周圍ニ數本ノ雄蕊ガ取リ巻イテ生ズルコトヽヲ見ヨ！灌園ガ之ヲはまうつぼノ一種トシタノハ極メテ疎漏ナ見立テデアル



本草圖譜刊行會デ出版ニナッタ『本草圖譜』巻末ノ「名疏」ニ之ヲ考訂シテ『きばなのはまうつぼ(學名) Orobanche pycnostachya Hance. (列當科)』トシテアルノハ非常ナ誤デヨイ加減ナ充テ方ヲシタモノデアル此O. pycnostachya Hance. ハ特ニ黃色ノ花冠ヲ有スルカラきばなのはまうつぼト和名ヲ付ケタモノデハアルガ然シ此者ハ北支那ノ產デアッテ我日本ニハ產シナイ其レ故武州ノ御嶽(ミタケ)ナドニアルベキ筈ノモノデハナイ

右ノ刊行會デ出版シツヽアル此『本草圖譜』ハ大層立派ニ印刷ガ出來テ私等ハ斯學界ノ爲ニ常ニ大ニ祝シテハ居

ルガ然シ新ニ毎卷末ニ附セル「名疏」ニハ所謂玉ニ瑕デ餘リニ多クノ誤謬ガ諸處ニ頻出シ毎々識者ノ顰蹙ヲ買ッテ居ルノハ頗ル遺憾ナコトデアルバカリデナク實ニ世人ヲ誤マルコトガ尠クナイト同時ニ亦考訂者ノ名譽ニモ關スル、重モ過ギル荷物ヲ脊負ッタ副官ヲ引キ連レタ主將ハ其レガ爲ニ當サニ我身モ亦共ニ其責任ヲ分擔セネバナラヌ立チ場ニ立チ到ッタコトニ私ハ同情スル、噫

○植物古名考（承前）

東京　永沼小一郎

如上ノはぎハ少クモ三種ノ混稱デ有ッタデ有ラウ平安朝ノ初ノ頃カラはぎノ名ガ種々ニ形狀セラルヽ事トナッタ併シ是レニ今日ノ種名ヲ充ツル事ハ頗ル難事デ有ルガ今分布上カラ今名ヲ充テ試ミルコト左ノ如クデアル

【甲】みやぎのはぎ　宮城野萩 本朝鬪諍集　今名はぎ、一名みやぎのはぎ、一名なつはぎ

鴨長明ノ無名抄ニ云フ『このためなか任はてゝのぼりけるときみやぎのゝはぎをほりて長櫃十二合に入てもてのぼりければ人あまねくきゝて京へいりける日は二條大路にこれを見ものにして人多くあつまりてくろなどもあまたたてたりとぞ』

（イ）みやぎのゝはぎ 續千載集　（宮城野ノはぎ）

分け過ぐる人の袖まで宮城野の秋の錦はうつろひにけり　三條入道内大臣

（ロ）もとあらのはぎ 後拾遺集　（本荒ノはぎ）

宮城野に妻とふ（こふ異本）鹿ぞ叫ぶなる本あらの萩に露やさむけき　藤原長能

（ハ）からはぎ 古今集物名　（韓はぎ）

うつせみのからはきごとにとゞむれどたまの行へをみぬぞかなしき　よみ人しらず